



◆ カレンダーエリアの表示形式を変えてみましょう

- バーチャルエリアの上部には、**カレンダーエリア（日付）**が表示されています。
- 初期状態では**年月日の形式**で表示されていますが、実は**いろいろと変更**することができます。
- プロジェクトの期間や工程表の用途に合わせて、カスタマイズしましょう

「カレンダープロパティ」使い方をご紹介！

カレンダーエリアの設定は、カレンダーエリア右クリック「プロパティ」内で行います。
今号では、ここで設定の変更ができる項目を一挙にご紹介します！！

「プロパティ」ダイアログ

右クリック

							2017年				
27	28	29	30	1	2	3	4				
日	火	水	木	金	土	日	月				

カレンダー エリア

背景のカレンダー 0 デフォルト OK

表示するライン

なし (通しラインのみ)

年

年/月

年/月/日

年ラインの設定

年度表示 (今年度の開始日 : 月 日)

通しラインの設定

通し月 通し週 通し日

起点 年 月 日 (--) ...

通し日のカレンダー 0 デフォルト

カレンダータイプ

西暦 和暦 英語表示

※ カレンダーエリアのスペースが足りない場合には、月日や通しラインは画面上に表示されません。

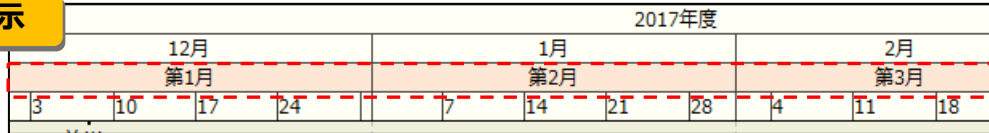
◆ 通しラインを表示してみましょう

カレンダーエリア右クリックメニュー「プロパティ」にて、カレンダーエリアの表示設定を変更する事が出来ます。ここで、カレンダーへ通しラインを表示するように設定をしましょう。

12月1日を起点とした「通しライン」が表示されます（あくまで一例です）

通しライン（週・月・日）を表示します。たとえばこのように↓、任意の日付を起点とした通しラインを表示しておく事もできます。プロジェクトのスタート段階を起点に、**通し週・月・日**を見たいときに使います。

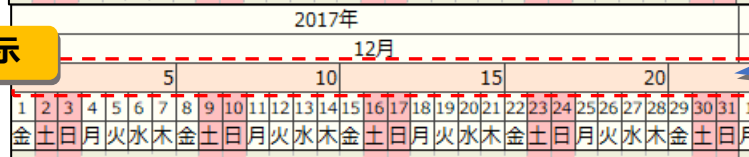
[通し月]表示



[通し週]表示



[通し日]表示



[通し日]は“実稼働の日数”が表示されます

◆ 表示するラインを選択してみましょう

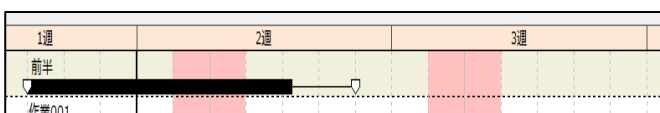
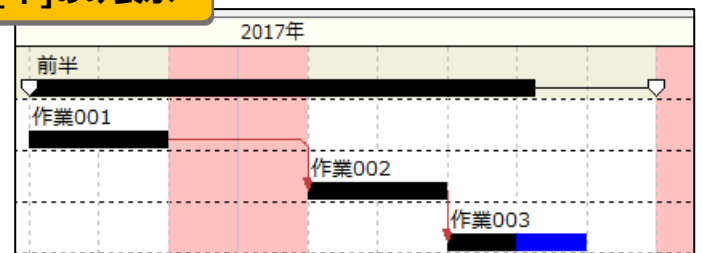
ダイアログ内[表示するライン]で、カレンダーの日付形式の選択ができます。これにより、[年表示のみ]あるいは[年月のみ（日付無し）]などの形式へ変更できます。

先述の[通しライン]だけの表示にしておく事もできます

[年/月]表示



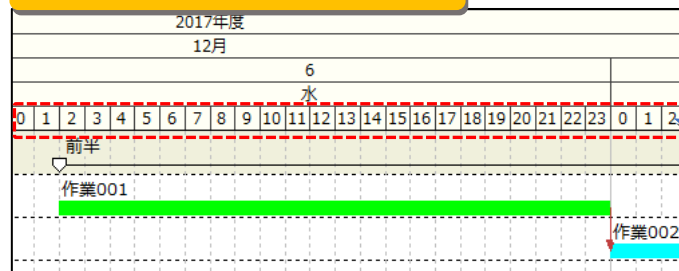
[年]のみ表示



◆ **Tips** カレンダーに「時間」を表示する

なお、[編集]-[オプション]-[単位]-[カレンダーの最小単位]を「720」分以下に設定すると、「表示するライン」で[年/月/日/時間]を選択できるようになります。

[年/月/日/時間]まで表示

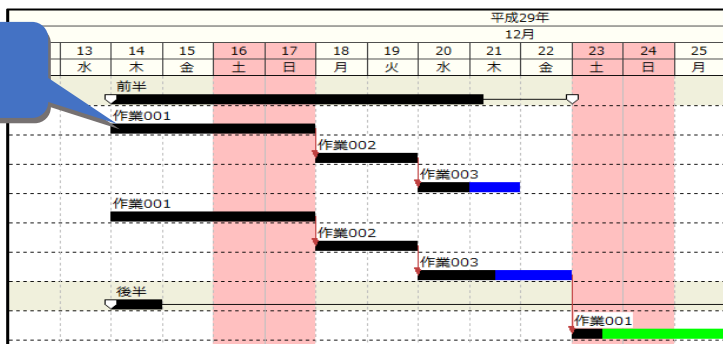


カレンダーの最小単位を
60分 (= 1時間) 以下
に設定すると、このように←1時間刻み
までの粒度で表示する事も出来ます

◆ **応用編** : 背景カレンダーを変更してみましょう

デフォルトのカレンダーと背景に表示しておくカレンダーは、このように↓別々の物へ変更できます。

作業バーは土日も稼働
カレンダーは土日色分けアリ



カレンダー エリア

背景のカレンダー: 1 背景用

0 - デフォルト

1 - 背景用

OK

キャンセル

表示するライン

年ラインの設定

年度表示 (今年度の開始日 : 月 日)

背景カレンダーを設定します。
ここでバーチャートエリア背景に
表示したいカレンダーを個別で
設定できます。

◆ **Point**

初期設定では作業バーのカレンダー初期値は背景カレンダーに設定されています。
背景カレンダー≠デフォルトカレンダーとした場合は、必ずカレンダー初期値を変更してください。
※[環境設定]より変更します

-**変更方法**-

メニュー[編集]⇒[環境設定]⇒[作業バー初期値]内[初期カレンダー設定]より

環境設定

出力 マウス カレンダー 互換性 PREGARE ポップアップ 検索オプション

文字 グループ情報 初期値 **作業バー 初期値** コンストレイント 初期値 拡張オプション

初期カレンダー設定

背景カレンダー カレンダー : 0

背景カレンダーから変更します